

分科会開催報告書

報告日	令和2年 9月 3日(木)	報告者	小 幡 友 子		
分科会名	浮 雲 俳 句 会	開催テーマ	139回浮雲俳句会		
開催日時	令和2年 8月 30日(日) 午前9時30分～午前11時30分	開催場所	能見台地区センター多目的室—B—		
参加人数	“わ”の会会員	男	11名	女	6名
		合計	17名		
		欠席者	0名		

実施内容

第139回例会は、兼題①大阪城②人事（初秋）狩猟・農耕・情緒・遊楽。他に当季雑詠2句。計4句。句会は、大川一馬会員による添削披露及び、大川一馬会員による選句の披講の後、北野主宰から、天・地・人賞と、特選5句、佳作8句の発表と夫々の句についての論評があった。

天賞句	八月の巨大な火の輪大日輪	一 馬
地賞句	大阪城アベノハルカス二つ星	あきえ
人賞句	闇揺らす惜別のこゑ秋の蟬	和 女
特選句	爽涼の修築重ぬる大阪城	勇 平
	見渡せば遥かな筑波稲架の波	春 駒
	日の匂ひ残して納屋の今年藁	二 祥
	秋日傘稽古帰りの芸妓かな	三 洋
	あかまんまおさなきパパとママがゐて	とも女

会員高点句

8点句	日の匂ひ残して納屋の今年藁	二 祥
8点句	子規庵の座卓ぼつんと秋に入る	二 祥
7点句	考夫の忌や独り風樹の鳩を吹く	十 九

次回の予定

令和2年9月27日(日)午前9時30分～午前11時30分

「第140回例会」は、能見台地区センター多目的室—A—

第140回例会は、兼題①鶴ヶ城②宗教（中秋）。他に当季雑詠2句。合計4句。

披講 太田重九会員